



# Resilience View

レジリエンス・ビュー 第8号

2014年7月31日

## この号の内容

- 1 ヒューマンレジリエンス (第1回) [(株)深谷レジリエンス研究所 深谷純子氏]
- 2 「世界に通じる危機対応」が5月19日に出版されました。[黄野 吉博 氏]  
【連載まんが】  
パットン将軍語録(第1回) [(株)セノン 上倉秀之氏]
- 3 協会からのお知らせ

## 執筆者プロフィール

### 深谷純子

社会をレジリエンスにするための研究活動、コンサルテーションを実施。

ITのレジリエンス向上に関しては、前職(日本アイ・ビー・エム)でBCP策定や運用管理などを約15年経験

e-mail: info@fukayaresilience.com

## レジリエンス・ポイント

- ① 持てる力を十分に発揮するには、組織にとっても個人にとってもヒューマンレジリエンスが必要
- ② 「よりよく生きる」とは3点で捉えられる。
- ③ ヒューマンレジリエンスは、従来のレジリエンスにおける「災害」を「ストレス」に、指標である「操業度」を「モチベーション」に置き換えることで比較できる。

## 1. 【新連載】ヒューマンレジリエンス (第1回)

(株)深谷レジリエンス研究所 深谷純子

### (1) ヒューマンレジリエンス部会発足によせて

最近、ヒューマンレジリエンスという言葉をよく耳にします。

「レジリエンス」には、復元力、回復力、柔軟性、強靭性などの意味がありますから、「ヒューマンレジリエンス」は、人が持つ逆境からの復元力、粘り強さ、しなやかさ、ポジティブな気持ち、折れない心などを表すのではないかと思います。

これまでインフラや危機組織の強化、BCPの策定などの観点で進められてきたレジリエンスの研究に加えて、「人をレジリエンスにする」という視点を新たに取り入れたいと思い、「ヒューマンレジリエンス部会」を発足させました。

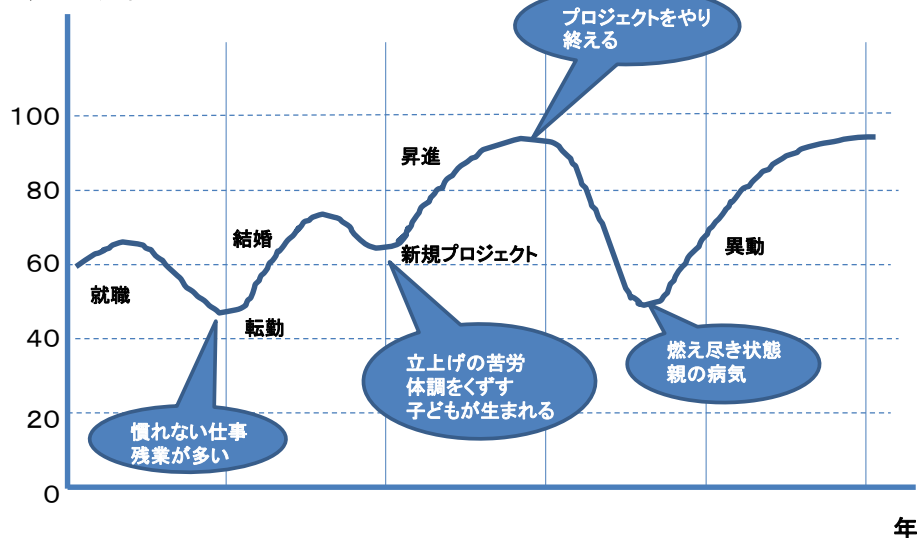
インフラを強靭にしても、組織や手順をしっかり整えても、それを動かす人の気持ちが合わさらないと、将来の巨大災害は乗り切れません。また、災害の発生有無によらず現代はたいへんなストレス社会です。持てる力を十分発揮するには、組織にとっても個人にとってもヒューマンレジリエンスが必要ではないでしょうか、そんな、役立つヒューマンレジリエンスの研究を行っていききたいと思います。

今回から連載で、ヒューマンレジリエンスに関する掲載をいたします。第1回は、「モチベーションカーブとヒューマンレジリエンス」です。

### (2) 第1回「モチベーションカーブとヒューマンレジリエンス」

コーチングでは、このようなモチベーションカーブを書いて、どんな時に最高の気分だったか、または停滞していたか、そこで起こった出来事や影響を受けたことを棚卸しすることがあります。

モチベーション

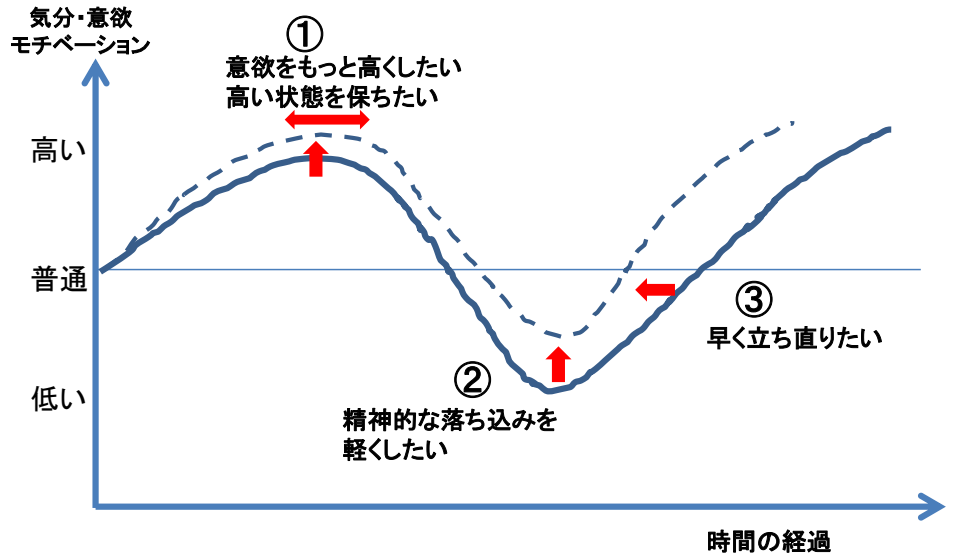


自分のモチベーションを左右するものは何か、大切にしていることや信念を知って未来をよりよく生きるために役立ちます。つまり、よりよく生きるとは以下の3点で捉えられるのではないかと思います。



# 【連載まんが】パットン将軍語録

作:上倉 秀之



- ① 高いモチベーションを維持・構築したい
- ② ストレスがあった時でも、精神的な落ち込みを最小化し底打ちさせたい
- ③ 早く立ち直り、モチベーションを上げたい

この3点を実現するには、どういったことが必要かヒューマンレジリエンス部会で取り上げていきます。従来のレジリエンスで言うところの災害を「ストレス」に、指標である操業度を「モチベーション」に置き換えて比較したのが以下の表です。

ヒューマンレジリエンス (案)		従来のレジリエンス	
①維持・構築	チームビルディング リーダーシップ構築 コーチング 折れない心の構築	平常時	防災計画 インフラ強化 訓練
ストレス事象の発生		災害の発生	
②底打ち	ストレスケア・気晴らし 失敗の分析 カウンセリング ネガティブ感情の完了	発災時	危機対応計画
③立ち直り	グリーフケア 新たな目標設定 自己効力感の復活 コーチング	復旧・復興	事業継続計画 災害復旧計画
指標:モチベーション		指標:操業度	

ヒューマンレジリエンスで検討する内容はまだまだ議論が必要です。どんなものが必要か、使える手法はあるか等、情報交換を交えながら、一人ひとりが持っているレジリエンス力を上げるための役立つ研究にしていきたいと思えます。

### 【今後の掲載予定】

- 11月号: ポジティブ思考でレジリエンス力を高める
- 1月号: 内省によってレジリエンスな自分になる
- 4月号: ヒューマンレジリエンスに必要な関係構築



## 2. 「世界に通じる危機対応」が5月19日に出版されました。

一般社団法人レジリエンス協会 代表理事 黄野吉博

本書は、副題に「ISO 22320: 2011 社会セキュリティ — 危機対応に関する要求事項」とあるように、ISO 22320 の解説が中心ですが、以下の目次からお分かり頂けるように、危機管理のあり方について基礎から学ぶ読み物としても適しています。

### 【目次】

- 第1章 危機対応に本当の専門家はいない
  - ・ 危機対応とは何か
  - ・ 危機対応の特徴
  - ・ 危機対応に本当の専門家はいない
  - ・ 災害対応は一人ではできない
  - ・ ISO 22320 とは
- 第2章 ISO 22320 の解説
  - ・ 指揮・統制に関する要求事項
  - ・ 活動情報に関する要求事項
  - ・ 協力及び連携に関する要求事項
- 第3章 規格は使わなければ意味がない
  - ・ 危機管理の一環としての危機対応
  - ・ 危機管理計画の立案
  - ・ 教育訓練
  - ・ 危機対応計画の振り返りと評価
  - ・ 改善
  - ・ ISO 22320 の導入にあたって
- 第4章 ISO 22320 を現場で活かすには
  - ・ ISO 22320を使って福島第一原子力発電事故を読み解く
  - ・ ISO 223xx ファミリーの中の ISO 22320 の位置付け

本書は、BCP・BCM 及び防災計画を構築している企業や自治体が、実際に地震や風水害などに遭遇した場合にその仕組みが現実的に機能するのかをチェックする項目を網羅しています。また、ユーザー側の企業や住民が、国内外のサプライヤ企業や自治体の危機対応力をチェックする際に必要となる項目も提供しています。これは、逆に言いますと、本書は海外の企業や公益機関が日本の企業や自治体の危機対応力を評価することに使われる項目を明らかにしていることを意味しています。

なお、本書の執筆には、レジリエンス協会の次の関係者が参加しました。

編集委員長	林 春男	京都大学
編集委員	荒井富美雄	京王電鉄株式会社
同	黄野吉博	一般社団法人レジリエンス協会
同	新藤 淳	損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント株式会社
同	田代邦幸	株式会社インターリスク総研
同	榎本純夫	損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント株式会社
同	三島和子	セコム IS 研究所

### 【出版社、他】

出版社： 一般財団法人日本規格協会  
 定価： 3,200 円(税抜)  
 A5 判/176 頁



### 3. レジリエンス協会からのお知らせ

今回レジリエンス協会のロゴマークを一新し、本紙冒頭のレジリエンス・ビューのタイトル枠に掲げることにしました。

丸にも三角にも見えるロゴの、3つの丸には、2つの意味があります。ひとつは、民・学・地域(官)それぞれが手を取り合って星(地球・国家)を囲み、協力してレジリエンスを実現する。そしてもうひとつは、インフラ、手順(標準やルール)、ヒトを現し、それぞれが連携しバランスのとれた取り組みをなすことにより、レジリエンスを実現するという意味を込めました。

さて、次回定例会は、2014年9月24日(水)13:20~18:00 京都大学東京オフィス(品川)です。現在参加受付中です。どうぞお誘い合わせの上ご参加下さい。

#### 編集後記

「レジリエンス・ビュー」編集: 広報委員 榎本純夫 新藤淳 菊池謙三

第7号から1年以上の間が空いてしまい申し訳ありませんでした。気を取り直して紙面をリニューアルしての第8号の発行です。今号から、深谷さんによるヒューマンレジリエンスに関する研究成果の連載と、上倉さんのマンガがスタートしました。今後とも引き続きよろしくお願ひ致します。(新藤)

本レポートの無断転載は禁止です。転載・引用される場合は、「出典:レジリエンス協会会報レジリエンス・ビュー第〇号」と明記して下さい。

レジリエンス協会 会報 レジリエンス・ビュー 第8号  
発行: 一般社団法人レジリエンス協会  
<http://www.resilience-japan.org/>  
お問い合わせ先: info@resilience-japan.org